

講義名	日本語総合A（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	小村 志保美	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学生活を送るための基礎的な日本語能力を身につける。文法知識を学ぶだけでなく、日本語でのコミュニケーションや作文でどのように使われるかを考え、実際の生活の場面で応用できるようにすることを旨とする。

到達目標

授業で扱った文法項目を理解し似たような表現のちがいがわかる。学習した文法を日常生活や大学での表現活動（書く・話す）に使用することができる。

提出課題

毎回、ワークシートを配布する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

質問には、その都度回答する。テスト・課題等は採点・添削後、返却してフィードバックを行う。

評価の基準

授業中の課題達成度（30%）、小テスト等（20%）、中間確認テスト（25%）、期末確認テスト（25%）
授業を5回以上欠席した学生は、単位を認定することができない。

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業で出席をとる。
授業中は日本語を使用することを意識すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料等は必要に応じて配布する。

授業計画

1. 科目オリエンテーション（授業の進め方・スケジュール・評価の方法）
2. 「はず」「もの」「ところ」を使った表現
3. 「わけ」「こと」を使った表現
4. いろいろな語について意味をつけ加える表現
5. 時間に関係する表現
6. 接続の表現
7. 接続の表現
8. 中間確認テスト
9. 中間確認テスト解答/文末で使われる表現
10. 文末で使われる表現
11. 名詞・動詞と組み合わせて使う表現
12. 助詞と同じような使い方をする語句を使った表現
13. 助詞と同じような使い方をする語句を使った表現
14. 助詞と同じような使い方をする語句を使った表現
15. 期末確認テスト / 解答

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業内で解説した箇所を確認し、解答できなかった問題を定着させておく。次回的小テストに向けて全体を復習しておく。...2時間
作成や会話などで、学習した文法を適用できるようにする...2時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できる人材を育成する科目である。
豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン等になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考